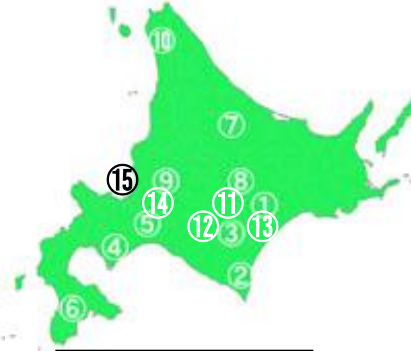


エネルギー村炭素おとし事業



平成22年度認定事業計画の概要

1. 認定事業計画数 15件(15市町村、41団体)

2. 環境

CO₂削減
見込み量 ▲2,650t-CO₂/年
// 削減率 ▲32%

3. コスト

コスト削減
見込み額 ▲24百万円/年
削減率 ▲10%
※減価償却費及び事業外で生じるコスト改善効果は含まない。

4. 地域経済

環境エネルギー産業の育成 11件
観光振興・交流推進 7件
農商工連携の強化 5件
ものづくり・食産業の振興 4件
その他 15件

5. 事業の内容と効果

①地域バイオ燃料需給体制の確立と新エネ導入ショーケース整備事業

(BDF燃料製造・利用によるソーシャルビジネスの起業支援と公共施設への太陽光発電システムの率先導入)

[本別町&NPO法人ほんべつ「つつじの園」]

町内で回収した廃油を原料としたBDF(バイオディーゼル燃料)等の製造施設の整備とゴミ収集車燃料としての活用により、障害者の自立・就労を支援。あわせて、町内公共施設初の太陽光発電システム導入により、地域ぐるみの地球温暖化対策の拠点として、商店街や自治会と連携し、啓発運動・環境教育及び産業育成に活用。

[概算事業費10,300千円、交付金要望額2,500千円]

- ★低炭素化: ▲25t-CO₂/年(▲19%)
- ★コスト: ▲217千円/年(▲8%)
- ★地域経済: コミュニティビジネスの創出、環境エネルギー産業の育成、商店街の活性化
- ★連携・協働など: 町・NPO・障害者・商店街等

②広尾サンタランド炭素おとし事業

(サンタランド・イルミネーションと医療福祉施設の省エネ照明の整備など)

[広尾町&広尾町北方圏交流振興会&とかちサンタランドツリーの会&北海道ECO推進協議会]

サンタランド聖地である大丸山森林公園のイルミネーション全てをLED化するともに、山の麓にある病院・養護老人ホーム等の照明機器の省エネ化を図る。これらの取組によるCO₂削減量を利用して、サンタメール事業のカーボンオフセットや植樹を行うほか、夏季にはLEDと環境のシンボルとして蛍の飼育に取り組むなど、環境活動と観光振興を強化。

[概算事業費10,600千円、交付金要望額10,000千円]

- ★低炭素化: ▲112t-CO₂/年、53%
- ★コスト: ▲1,900千円/年、▲53%
- ★地域経済: 観光振興・交流推進
- ★連携・協働など: 町・NPO・医療福祉等

③環境モデル都市帯広のエコガーデン観光ネットワーク事業

(観光ガーデンにおけるバイオ燃料ボイラーの整備利用等とエコな観光資源を活用した国際観光プロモーション強化)

[帯広市&NPO法人十勝エネルギーネットワーク&(有)紫竹がーデン&十勝ソーニックハイウェイ&帯広駅モビリティセンター運営協議会]

市内のオープンガーデン「紫竹ガーデン」において、花き栽培ビニルハウス、レストランのボイラー転換・改修による廃食用油・BDF利用及び、作業車用燃料のBDF転換、太陽光発電システム・LED照明の導入などを行い、エコガーデンとして通年開園を実現。あわせて東アジア観光客等新たな誘客を促進するため、当園と中心市街地などを結ぶ観光ネットワークの構築や、BDFバス・自転車を活用した観光プラン・ルートの企画運営と公共交通の利用促進事業を実施。

[概算事業費31,200千円、交付金要望額30,000千円]

- ★低炭素化: ▲370t-CO₂/年、▲87%
- ★コスト: ▲4,800千円/年、▲37%
- ★地域経済: 観光振興・交流推進、環境エネルギー産業の育成、コミュニティビジネスの創出、戦略的バイオマス利用による産業活性化機会の創出等
- ★連携・協働など: 市・NPO・観光・交通等

④登別エコ温泉化プロジェクト

(地獄谷誘導灯のLED化と温泉排熱利用による商店街歩道融雪システムの導入)

[登別市&(社)登別観光協会、(株)アール・アンド・イー]

登別温泉の観光スポット「地獄谷」に続く「鬼火の路」誘導灯をLED化するとともに、極楽商店街等の歩道において、地場企業が道立工業試験場と共同開発した温泉排熱利用「空気吹き出し式融雪システム」の導入によりツルツル路面を解消し、温泉フリーパスを利用した湯めぐり客の冬季安全通行を確保。あわせて「エコ温泉」をアピールし観光客の増加と温泉商店街の活性化を図るとともに、降雪温泉地に適した融雪対策として全国に発信し、ビジネスチャンスの拡大を図る。

[概算事業費3,700千円、交付金要望額2,700千円]

- ★低炭素化: ▲27t-CO₂/年、▲97%
- ★コスト: ▲850千円/年、▲97%
- ★地域経済: 観光振興・交流推進、環境エネルギー産業の育成、商店街の活性化
- ★連携・協働など: 市・温泉街・環境企業、観光協会等

⑤環境にやさしい温泉と「なんぼろピュアライス」の美味しさ向上による地産地消活性化事業

(農業副産物等を利用したペレット燃料製造・利用環境の整備による南幌産米の食味向上と観光施設の利用拡大)

[南幌町&南幌町農業協同組合&広教資材(株)&南幌町観光協会]

稲わらの農地への鋤込みによる食味影響やメタンガス発生を防ぐとともに、未利用資源の利活用による新産業・雇用の創出を図るため、稲わら等農業から排出される副産物等を利用したペレット燃料の製造施設と、南幌温泉等にバイオマスボイラーを整備し利用するほか、燃焼灰を土壌改良剤などとして農地還元するなど循環システムを構築。あわせて町外からの視察見学の受入を促進し、南幌産米の食味向上と観光施設の利用拡大を図る。

[概算事業費126,300千円、交付金要望額28,800千円]

- ★低炭素化：▲288t-CO₂/年、▲50%
- ★コスト：+500千円/年(稲わら費含)
- ★地域経済：農商工連携の強化、環境エネルギー産業の育成、コミュニティビジネスの創出、戦略枠=バイオマス利用による社会・環境コストの削減等
- ★連携・協働など：町・農業団体・観光協会等

⑥木質バイオマス資源活用ボイラー転換モデル事業

(特産舞茸生産における未利用木質バイオマスの多段階活用システムの構築)

[厚沢部町&榊佐々木総業&(有)渋田産業]

町有林の間伐後の未利用林残材を粉碎・乾燥しボイラー燃料を製造、舞茸生産用のおが粉の殺菌用の重油ボイラーを木質ボイラーに転換し利用するとともに、使用済み廃菌床(おが粉)を燃料利用することにより、CO₂と燃料費を削減。あわせて木質バイオマスの普及及びエコをアピールした特産舞茸の販路拡大を促進。

[概算事業費17,900千円、交付金要望額10,000千円]

- ★低炭素化：▲140t-CO₂/年、▲100%
- ★コスト：▲2,200千円/年、▲57%
- ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、農商工連携の強化、建設業の新分野進出、食産業の振興等
- ★連携・協働など：町・林業・建設業、商工業

⑦子育て環境にやさしい木質バイオマス地域活性化事業

(認定こども園への木質ペレットボイラーの導入・利用と普及啓発・環境教育の実施)

[滝上町&滝上町森林組合&滝上林業協同組合&(有)真貝林工]

幼保一元化に伴う認定こども園の整備に際して、木質ペレットボイラーを導入・利用することにより、未利用林地残材・木質ペレットの安定供給と価格低減を図る。あわせてペレットボイラーをショーケースとして公開、森林再生資源循環への町民・企業等の導入を促進するとともに、環境学習機会を提供する。

[概算事業費34,400千円、交付金要望額5,400千円]

- ★低炭素化：▲54t-CO₂/年、▲94%
- ★コスト：▲115千円/年、5%
- ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、森林再生・林業振興
- ★連携・協働など：町・林業・建設業

⑧ぬかびら源泉郷エコ温泉街づくり事業

(温泉街路・防犯灯のLED化と環境美化・植栽による環境配慮温泉街としての活性化)

[上士幌町&ぬかびら源泉郷旅館組合]

日本最大の大雪国立公園の森と糠平湖の湖水に囲まれ、全国7カ所しかない全宿、源泉かけ流しの温泉街の一つ「ぬかびら源泉郷」において、街路・防犯灯を水銀灯からLED灯に転換するとともに、環境美化活動や植栽事業を実施。あわせて環境配慮型の温泉街としてのイメージアップを図るとともに、イムノリゾート(健康、環境、観光による都市と農村の交流)や北海道遺産、自然体験など多彩な観光資源のPRを行い、交流人口の増加を図る。

[概算事業費5,900千円、交付金要望額1,200千円]

- ★低炭素化：▲13t-CO₂/年、▲74%
- ★コスト：▲183千円/年、▲32%
- ★地域経済：観光振興・交流推進
- ★連携・協働など：町・温泉旅館、観光協会

⑨北海道発LED街灯整備事業

(町内街路灯への道産LED製品の導入と道産省エネ先進技術の発信)

[奈井江町&(株)太田精器]

道内企業で共同開発され、優れた耐寒性・耐久性と長寿命化を実現した道産LED照明を製品化した企業の地元奈井江町内の街路灯に導入し、環境性能やコスト削減などLED照明の優位性を発信するとともに、本道の先端技術を集結したものづくり力に対する認知度を高める。

[概算事業費1,300千円、交付金要望額500千円]

- ★低炭素化：▲5t-CO₂/年、▲80%
- ★コスト：▲137千円/年、▲54%
- ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、ものづくり産業の振興
- ★連携・協働など：町・製造業

⑩地域資源活用による低炭素化温泉地域復興事業

(温泉源の未利用天然ガスによるコージェネレーションによる電力・熱利用施設の整備)

[豊富町&合同資源産業(株)&豊富町商工会&豊富町観光協会&NPOサロベツエコネットワーク]

豊富温泉の泉源から大気中に放散されている未利用天然ガスを燃料とするガスコージェネレーションシステムを導入し、鉱山施設の温泉湯湯コンプレッサーの電力を賄うとともにガスエンジンの排熱をホテル旅館に供給する温泉水の加温に利用、余剰天然ガス利用モデルとしてデータ検証を行う。あわせて環境に優しく安価な天然ガス利用が可能な温泉街としてのアピールするとともに、アトピー等皮膚病湯治メニューの開発、サロベツの自然環境保全活動のPRを行い、観光振興、新産業の創出、雇用の拡大を図る。

[概算事業費30,000千円、交付金要望額30,000千円]

- ★低炭素化：▲805t-CO₂/年、▲66%
- ★コスト：▲2,500千円/年、▲40%
- ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、観光振興・交流推進、戦略枠=地域ぐるみのCO₂排出抑制等
- ★連携・協働など：町・鉱業・観光

⑪道の駅しほろ温泉 DE バイオメタン事業

(家畜ふん尿による発電・排熱を利用した温泉、ガス外灯、LEDアートとイルミネーションのおもてなし)

[土幌町&(株)ペリオール&土幌町商工会&土幌町観光協会]

バイオガスプラントで処理する酪農家のふん尿を増加し、貯留により空中放散されていたメタンガスを削減するとともに、プラントで増加したガスを精製し、全国初の「低圧メタン吸蔵容器」で「道の駅・しほろ温泉」に運ぶ。温泉施設では、新設するガスコージェネレーションの燃料に利用し、施設の電力と、給湯・暖房用の熱を確保する。また、施設内の外灯をガス灯に転換し、余剰バイオメタンのやさしいあかりで来館者を迎えるとともに、コージェネ発電の増加電力を活用し、LED照明と和紙を使ったアート展とイルミネーション装飾を実施。これらの取組を環境ショーケースとして発信し、観光交流の増加を図るとともに、建設業のエネルギー分野への進出を促進する。

[概算事業費50,200千円、交付金要望額26,100千円]

- ★低炭素化：▲261t-CO₂/年(▲20%)
- ★コスト：▲3,800千円/年(▲13%)
- ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、農商工連携の強化、観光振興・交流推進、建設業の新分野進出
- ★戦略的＝バイオマス利用による産業活性化機会の創出等
- ★連携・協働など：町・三セク・商工会・観光協会等

⑫おいしいね！ めむろ食とエネルギーの地産地消

(街なかバイオマスとシルバー人材+ピザ・パン職人のエネルギーが地場農産物をブランドアップ)

[芽室町&カントリープラン&めむろシニアワークセンター]

町内で発生する街路樹の剪定枝等を原料にシニアワークセンターが木質ペレットを製造することにより、高齢者の就労機会を創造するとともに、木質ペレット利用のモデルケースとして、地元のパン屋が地元農産物を食材としたピザとパンを焼く「ペレット窯」を導入、燃料として利用する。あわせて、町の出張所に「木質ペレットストーブ」を設置しショーケースとしてPRするとともに、一般家庭でも「木質ペレットストーブ」のモニター事業を行い、データを公表することにより、安定的な供給先の確保と食とエネルギーの地産地消、地場農産物の付加価値向上を図る。

[概算事業費2,400千円、交付金要望額1,300千円]

- ★低炭素化：▲13t-CO₂/年、(▲21%)
- ★コスト：▲1,500千円/年、(▲46%)
- ★地域経済：農商工連携の強化、ものづくり・食産業の振興等
- ★連携・協働など：町・食産業・シルバー人材センター等

⑬十勝発 BDF活用による低炭素地域活性・実現プロジェクト

(法改正をバイオ燃料の冬季利用拡大のチャンスに変え、低炭素型の農業・製造業・建設・運輸事業を実現)

[豊頃町&(株)エコERC&十勝搾油作物推進協議会&テービーオイル(株)&(有)小枝産業]

揮発油等の品質の確保に関する法律の改正でBDF混合割合が5%以下とされたことから、既設BDF製造プラントにB5混合軽油製造設備を増設するとともに、道内初のB5製造とガソリンスタンドでの一般販売を開始し、環境に配慮したグリーンSSのモデルとする。あわせて、農業者との連携により資源作物である菜種の作付けを拡大し、開花時期の観光PRを行うとともに農作業へのB5活用を広げる。また、厳寒期の利用にも適することから、冬季における除雪機械や輸送事業での燃料利用を拡大する。さらに、BDF及び食用油製造用の蒸気ボイラー燃料を重油からBDFに転換し、環境にやさしい生産工程から生まれた「なたね油」や地場農産物のブランドアップを図る。

[概算事業費35,000千円、交付金要望額30,000千円]

- ★低炭素化：▲317t-CO₂/年、(▲16%)
- ★コスト：▲2,100千円/年、(▲2.5%)
- ★地域経済：農商工連携の強化、ものづくり・食産業の振興等
- ★戦略的＝地元産業部門の低炭素化を支える地域ぐるみのCO₂排出抑制・相殺等
- ★連携・協働など：町、食油業、農業、油小売業、建設

⑭地中熱で黄金のイチゴと花の栽培ショーケース事業

(地中熱交換システム・ヒートポンプによる冬季・端境期の高品質な農産物づくりとコミュニティビジネスの創出)

[岩見沢雪氷エネルギー活用検討会、岩見沢市&いわみざわ農業協同組合&積水化学北海道(株)&北海道岩見沢農業高校&(社)ゆあみ会]

農業の担い手確保に向けて、農作業の省力化や所得向上が図られるよう、道立花・野菜センターの実証成果を活用し、冬期間の野菜と端境期の高品質なイチゴや花を低コストで栽培できる省エネルギー地中熱交換システム・ヒートポンプを導入したビニールハウスを設置、岩見沢農業高校の実習参加も得ながら栽培を行う。また、規格外のイチゴや花などを利用して、障害者施設においてジャムやドライフラワーに加工・販売するとともに、その運搬車と乾燥施設の発電機の燃料を市内産のBDFに転換し、低炭素型のコミュニティビジネスを創出する。

[概算事業費13,000千円、交付金要望額10,000千円]

- ★低炭素化：▲107t-CO₂/年、(▲90%)
- ★コスト：▲2,100千円/年、(▲48%)
- ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、農商工連携の強化、建設業の新分野進出、観光振興・交流推進、コミュニティビジネスの創出
- ★連携・協働など：市、農業団体、建設業、社会福祉法人等

⑮地域連携による軽油混合廃食用油由来バイオディーゼル燃料(B5燃料)普及事業

(B5燃料の製造・導入促進と地域商店街や教育機関との連携による廃食用油回収モデルの構築)

[北清企業(株)&石狩市&NPOバイオマス北海道&(株)ネクスコメンテナンス北海道]

揮発油等の品質の確保等に関する法律の改正に適合するため、BDF混合軽油(B5)製造施設を建設、道立工業試験場の品質評価支援を得ながら、道内初のB5燃料の製造を行い、ごみ収集車79台、石狩市公用車3台、(株)ネクスコメンテナンス北海道や石狩市内の企業に販売する。あわせて、石狩市の廃食用油回収を促進するため、販売数量に応じた地元還元を行い、地域商店街や幼稚園等の教育施設と連携してポイントシステムなどの廃食用油回収モデルを構築し、化石燃料の減少、循環型社会と低炭素化社会の実現に貢献する。

[概算事業費10,150千円、交付金要望額10,000千円]

- ★低炭素化：▲104t-CO₂/年、(▲5%)
- ★コスト：▲1,800千円/年、(▲2.6%)
- ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、農商店街の活性化、産業立地の促進
- ★連携・協働など：市、清掃業、NPO、道路管理業

概算事業費計383百万円/交付金要望額計198.5百万円

※概算事業費・交付金額等は補助交付事務における事業内容の精査等により、今後異動する場合があります。